

全校写生大会

今年度で3回目を迎えた全校写生大会。小学部1～4年生と、小学部5年生～中学部の2コースに分かれて実施しました。

天候が心配されましたが、当日は雨に降られることもなく無事に終日実施することができました。子どもたちも集中して写生対象と向き合って、じっくり丁寧に細かいところまで描き彩色する姿がありました。

今回の作品も、11月に開催する予定の『ミラノ日本人学校作品展』に出展する予定です。

小学部5年生～中学部

(ミラノ・ブレラ地区、サンタ・マリア・テル・カルミネ教会)



小・中学生とも、教会を中心に作品を描きました。中には、教会周辺のミラノらしい建物が並ぶ細い路地を題材に選ぶ子もいました。

教会のつくりや、細かいレンガの色、角度によって見える部分や影の部分など、高学年・中学生らしい構図のとらえ方で自分らしいアングルでの作品を作り上げていました。



芸術家の多いブレラ地区。路地も見事な曲線を描いたつくりになっていました。

街ゆく通りがかりのイタリアの人たちから、『芸術学校の生徒さん?』と声をかけられるほど賞賛の声も聞かれました。



全校写生大会では、初めてのブレラ地区での実施でした。ミラノにある歴史ある一角で、再度イタリアやミラノのよさを認識することができた一日でした。

小学部 1年生～4年生

(ミラノ、カッシーナ・リッザルティ：農場)

間近で見ることができる動物たちに、「すごーい」「うわぁ～大きい！！」農場の方の説明を聞きながら、動物たちのことも詳しく知ることができました。

また、実際にえさをあげることもできました。最初はおそるおそるでしたが、おいしそうに餌を食べる動物たちの姿をみて、さらに身近に感じることができました。

そんな感動が、絵を見てもわかるように、集中して絵をかくことができました。

